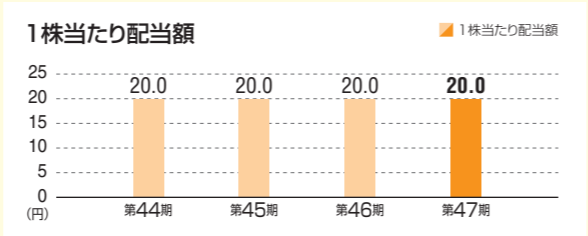


配当について

当社は、企業体質の強化を通じて収益力の向上を図り、安定的・継続的に配当を実施することを考慮しながら、業績に応じた利益配分を行うことを基本方針としております。内部留保金につきましては、長期安定的な経営基盤を確立し、更なる成長に向けて国内事業拠点網の拡大やM&A等に有効活用してまいります。当期の期末配当金は1株につき20円とし、前期から据え置きとさせていただきます。



※株式分割について
株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を目的に、2017年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割しました。
※1株当たり配当額は株式分割を考慮した上で遡及修正しております。

株主優待について



基準日	保有株式数	優待内容	発送時期
6月末日	100株以上	当社オリジナルクオカード 1,000円分*	9月下旬
12月末日	100株以上	当社オリジナルクオカード 1,000円分	3月上旬

※新型コロナウイルス感染症による景気の先行き不透明な経済状況が続いており、全社的な収益体質の維持が必要な状況となっております。そのため2020年6月期より、6月30日基準日の当社オリジナルクオカード2,000円分を1,000円分へ変更しました。

会社概要

2020年6月30日現在

社名 株式会社ユニバーサル園芸社
 設立年月日 1974年2月1日
 資本金 172,770,000円
 従業員数 連結834名(うち海外279名)
 (注)パート従業員を含んでおります。
 グループ会社 ビバ工藝株式会社
 株式会社花守花の座
 株式会社高島屋植物園
 園芸ネット株式会社
 上海寰球園芸産品租賃有限公司(中国)
 上海香奇园艺有限公司(中国)
 ローリング・グリーンズ・インク社(米国)
 ミラー・ジュ・グリーン社(シンガポール)

株式の状況

2020年6月30日現在

発行可能株式総数.....16,000,000株
 発行済株式の総数.....5,025,000株
 株主数.....5,088名

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
森坂 拓実	690,220	14.4
森坂 幸子	594,000	12.4
カーン 園子	528,000	11.0
ユニバーサル園芸社社員持株会	503,000	10.5
森坂 優子	341,080	7.1
ユニバーサル商事有限会社	226,600	4.7
大和リース株式会社	200,000	4.2
株式会社東邦レオホールディングス	140,000	2.9
日泰サービス株式会社	126,000	2.6
岡山フードサービス株式会社	82,900	1.7

(注) 1. 上記のほか、自己株式が220,589株あります。
 2. 持株比率(%)は、自己株式を控除して計算しております。

役員

2020年6月30日現在

代表取締役社長 森坂 拓実
 取締役副社長 安部 豪 (管理本部長)
 常務取締役 西川 道広 (関東事業本部長)
 取締役 片岡 義雄 (関西事業本部長)
 常勤監査役 池原 健一郎
 監査役 井関 新吾 (社外監査役)
 監査役 桑 章夫 (社外監査役)

株主メモ

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで
 定時株主総会 毎年9月開催
 基準日 定時株主総会 毎年6月30日
 期末配当金 毎年6月30日
 中間配当金 毎年12月31日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 100株
 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話照会先 ☎ 0120-782-031
 公告方法 当社ホームページに掲載 <https://www.uni-green.co.jp/>

お知らせ

【住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について】
 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

第47期 株主通信

2019年7月1日～2020年6月30日



株主・投資家の皆様には、平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに当社グループ第47期の概況について、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 森坂 拓実

私たちは、「緑のプロフェッショナル」集団です。

当社グループは、人と自然の調和・共存をテーマに快適な都市空間づくりを提案する「緑のプロフェッショナル」として観葉植物のレンタルをはじめ、人工樹木とアートフラワーアレンジメント、ランドスケープといったさまざまなアメニティ創造を、ソフトとハードの両面からサポートしております。今後も総合園芸会社である強みを活かして、時代と空間、そして景観にふさわしい彩りと自然の和みをご提供してまいります。

グリーン事業

オフィス、商業施設、ホテルなどへ観賞用植物やアートフラワーなどをレンタルで提供、ギフト商品、生花、季節商品などを販売しています。また、建築物の外構・庭園などの造園工事、植栽管理を中心に、屋上緑化等も手掛けております。



小売事業

個人顧客向けのガーデンセンター、グリーン・フラワーショップ、カフェ、ネット通信販売を展開しております。



the Farm UNIVERSAL

Ric'che 北と緑と観葉の店 "うこし"®

Fleur Universelle



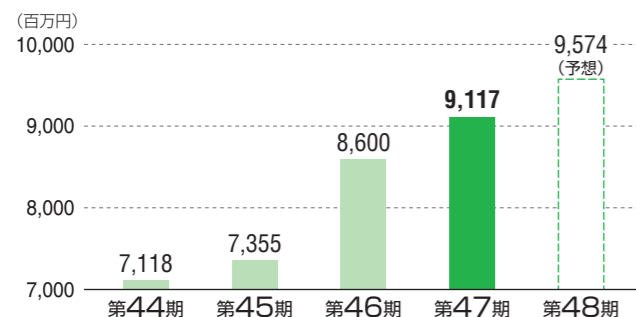
卸売事業

観葉植物、鉢花、造花、エクステリア資材を卸売しております。

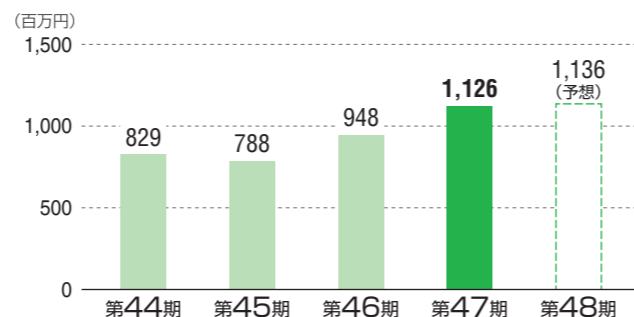
決算ハイライト

第47期のポイント 主力事業のグリーン事業において、レンタルグリーンにおける新規顧客の獲得や販売促進のためのマーケティング活動に引き続き注力した結果、増収増益となりました。

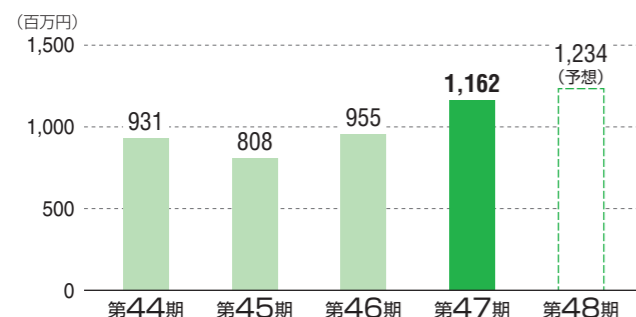
売上高



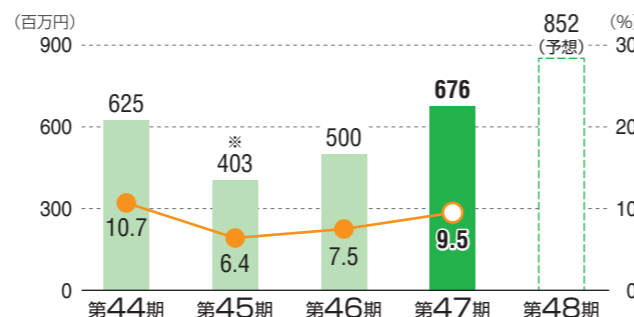
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益/ROE



※第45期の親会社株主に帰属する当期純利益は、米国の税制改革法の成立に伴い米国子会社において、将来の税負担軽減を見込んで連結貸借対照表に計上していた繰延税金資産を取り崩すことによる税金費用が増加したことにより(125百万円)、減少しております。

セグメント別の概況

グリーン事業

米国子会社のローリング・グリーンズ・インク社の収益改善に取り組んでまいりましたが、最近の新型コロナウイルス感染症拡大の背景による景気低迷の動向を踏まえ、オフィスの閉鎖等、厳しい事業環境であることから今後の事業見通しを勘案し、のれんの一部の減損損失を計上しております。なお、国内は契約数の増加等により、グリーン事業全体では増収増益となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は6,463,328千円(前期比5.3%増)、営業利益は1,083,166千円(同31.2%増)となりました。売上高営業利益率は、関東エリアは24.4%(前期20.7%)、関西エリアは24.2%(同23.8%)、海外エリアは0.7%(同△3.9%)となりました。

卸売事業

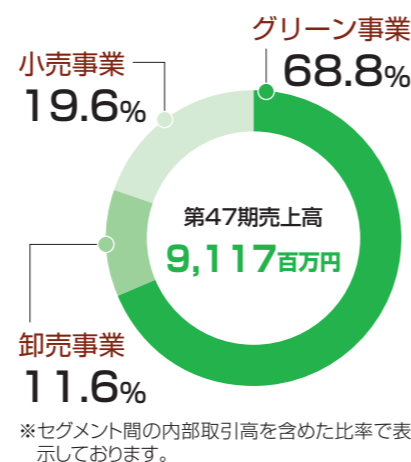
販売先の拡大等の営業強化に取り組みましたが、4月～5月は新型コロナウイルス感染症拡大防止による緊急事態宣言により、受注が振るわず減収減益となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は1,092,921千円(前期比6.7%減)、営業利益は59,382千円(同43.1%減)となりました。

小売事業

4月～5月に新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのテレワークや、外出自粛による個人の植物への需要が高まり増収となりました。しかし、引き続き設備投資の償却負担が回収できなかったこと等によりセグメント損益は損失となっております。以上の結果、当セグメントの売上高は1,838,385千円(前期比16.7%増)、営業損失は41,069千円(前期は11,970千円の営業損失)となりました。

※各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

セグメント別売上高構成比



新時代を拓く

成長戦略

将来目標

- 売上高 **300億円**・経常利益 **30億円**
- 既存事業の拡大
- 支店の増設
- the Farmの拡張
- M&Aの継続によるグループの増進
- 海外へ地域拡大



TOPICS

the Farm UNIVERSAL & FARMER'S KITCHEN グランベリーパーク店 OPEN

2019年11月に、グランベリーパーク(東京都町田市)内に、グリーンSHOP「the Farm UNIVERSAL」& カフェ「FARMER'S KITCHEN」がOPENしました。

the Farm OSAKA いちご園 2号ハウス OPEN

2019年12月に、the Farm UNIVERSAL(大阪府茨木市)内にある、いちご園「Strawberry Farm No.15」が拡大し、2号ハウスがOPENしました。

進行期(2021年6月期)ご報告

株式会社小林ナーセリー設立(M&A)

2020年7月に100%子会社として株式会社小林ナーセリーを設立しました。

事業内容: 花木、果樹および種苗の生産、販売
所在地: 埼玉県川口市安行(本社)
主要商品: ブルーベリー 約40万ポット 国内トップシェア



ザファームユニバーサル & ファーマーズキッチン 店内写真



いちご園 園内



小林ナーセリー 農園内